

## 新年のご挨拶



森田 俊作

1979年卒  
大樟春秋会 会長  
大和リース株式会社  
代表取締役会長

新年明けましておめでとうございます。

みなさまは、恙無い日を送られておりますでしょうか。偉大な先達、志水利通様、迫田茂雄様、新堂友衛様が、相次いでお亡くなりになりました。あらためて哀悼の意を表したいと思います。

さて今年は、いわゆる「年間時間外労働時間の上限規制問題」の年です。それに加え「賃金アップ」「円安によるコスト増」「Chat GPTをはじめとする生成AI」「ロシアのウクライナ侵攻報道を消し去ったガザ地区侵攻」と新型コロナ5類移行のニュースが、遠い昔のようです。

少子化問題では、出生数が2022年に80万人をきったと思ったら2023年予測は72万人前後とじわりと重くのしかかった年でもありました。このままの推移でいけば、2040年には810校ある大学の三分の一は、確実に定員割れになる水準です。(我が母校がそうならないよう祈るばかりですが)

暮れに、川村義肢(株)という福祉用具の大手企業に、5年後輩の山中章二取締役がおられると聞いて、社員の福利厚生用と私の母親の居宅介護用の相談に伺い、良い商品をお薦めいただきました。田岡弘志総支配人の阪急インターナショナルホテルに、3年後輩の大和ハウス工業の下西佳典専務を呼び出して会食をしました。(残念ながら田岡総支配人は留守でしたが(笑))

そうそう、ニチハ(株)の吉岡成光社長のところにお邪魔したおりに「会長、大阪経済大学の卒業ですよね。優秀な後輩が当社にはたくさんおりますよ。」と言われた時にはびっくりしました。先輩面をして母校の後輩たちの援助をろくにできていない自分の不甲斐なさに申し訳ない気持ちで一杯になりました。

気がつけば、68歳になりました。春秋会に誘われて16年、なにもできず時間だけが過ぎました。亡くなられた方々のお顔を思い出しながら、なにか恩返しができる1年になるよう頑張ります。

新年のご挨拶を心より申し上げます。

昨年度は本学創立90周年を迎え、会員の皆様からの温かい支援に深く感謝いたします。今年も、会員の皆様が龍のように力強く飛躍されることを祈念し、引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大樟春秋会 事務局一同



高岡 伸夫

1975年卒  
大樟春秋会 副会長  
株式会社タカショー  
代表取締役社長

新年、明けましておめでとうございます。1975年卒の副会長の高岡です。

大阪経済大学 経営学部を1975年に卒業し、その後大阪に本社を置く会社へ就職しましたが、1980年に、同郷で大阪経済大学 経済学部出身の故・岡室氏、妻と他4人で株式会社タカショー創業。家と庭での家族の健康で幸せな笑顔のある暮らしの実現を目標に、ガーデンライフスタイルメーカーとして多くの大経大卒業生と共に奮闘。1998年には業界で初めてジャスダックに上場しました。あえて和歌山の海南に本社を置き、グローバル企業を目指し米・欧・豪をはじめとした海外と国内に拠点を持ち、幅広く事業展開を進めております。

大阪経済大学は、これまで多くの大手企業から中小・ベンチャー企業の社長を輩出してきました。今後大樟春秋会として森田会長を中心に、ご活躍されてる卒業生の皆様とネットワークしながら社会貢献していけるよう、新しい時代を超えてイノベーションを繰り返しながら、独自の大阪経済大学の発展を念じております。



太田 剛

1983年卒  
大樟春秋会 副会長  
株式会社ハブ  
代表取締役社長

あけましておめでとうございます。

春秋会会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響がようやく収束に向かい、弊社に於きましてもコロナ禍において中止せざるを得なかった様々な施策を復活させ、日常をとりもどしてまいりました。会員の皆様におかれましても、今年は「完全復活」または「更なる成長」を期する大切な一年になることと存じます。

新年におきましても大樟春秋会が皆様のご活躍に貢献すると共に、母校大阪経済大学の学生が日本の未来を切り開く為の一助となることを祈念しております。本年も引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

